

会 議 録		令和 4 年 7 月 4 日作成	令和 8 年 3 月末日廃棄
会議名	京都府福知山警察署協議会（令和 4 年度第 1 回）		
開催日	令和 4 年 6 月 23 日（木曜日）		
時 間	午後 4 時から午後 5 時 40 分までの間（100 分）		
場 所	京都府福知山警察署 講堂		
出席者	足立（幸）会長、衣川副会長、中司副会長、田中委員、廉屋委員 足立（久）委員、小谷委員、笹田委員 （欠席 森下委員、高田委員、北村委員） 計 8 人		
	署長、副署長、会計課長、警務課長、生活安全課長、地域課長、刑事課長 交通課長、警備課長、広聴相談係長 計 10 人		
諮 問 事 項	令和 3 年の福知山警察署における警察活動の回顧と展望について		
会 議 内 容	1 会長及び副会長改選（委員互選）		
	2 会長及び副会長挨拶	司会	副署長
	3 署長挨拶		
	4 委員自己紹介		
	5 福知山署幹部自己紹介		
	6 協議	司会	会長
	諮問事項説明		
	令和 3 年の福知山警察署における警察活動の回顧と展望について		
	(1) 福知山市の犯罪情勢について～生活安全課長		
	(2) 大麻の蔓延状況について～刑事課長		
	(3) 令和 3 年中の交通事故発生状況等について～交通課長		
	【委員】一昨年から、「こども 110 番のいえ」に登録しているが、あまり機会がないため、横のつながりがあるのか、どのような事例があるのかを教えてください。		
	【警察】子どもに、非行防止教室や防犯教室等の機会を通じて、危ない目に遭いそうになったり、不審者を見かければ、「こども 110 番のいえ」に駆け込むように指導をしている。		

会 議
内 容

学校等でも、通学路上に「こども110番のいえ」の場所があるかどうかの把握をするための取組をしており、「こども110番のいえ」があることで防犯意識の向上につながっている。

【委員】「こども110番のいえ」に登録している人たちが交流する機会はないのか。

【警察】福知山市では実際に行われているか把握はできていないが、京都府下では「こども110番のいえ」に登録している家を子ども達が訪れ、家の方と挨拶をして顔を覚えることで、顔の見える関係作りをするという活動がある。

【委員】福知山市でもそのような取組ができれば良いと思う。

【委員】福知山市でも中学生、高校生の大麻による薬物事案が衝撃的な話だと聞かせてもらった。

大元の組織に辿り着いた事案があるのか教えてほしい。

【警察】大きな組織までではないが、大麻を栽培していた人物を検挙している。警察本部と連携して情報共有を行い、組織に辿り着けるように捜査をしている。

【委員】大麻について、低年齢化しているということだが、立ち直り支援について、ここ数年で関わり方に変化があるのか。

従来どおりの立ち直り支援ではなく、薬物に特化した立ち直り支援がなければ防ぐことが難しいと感じている。

【警察】従来の活動から、積極的に警察から手を差し伸べる立ち直り支援活動に方針転換をしている。

去年、大麻で検挙した少年についても、少年係で積極的に関わりをもっている。支援活動には様々な活動内容がある。

非行少年の親から理解を得ることが障害になる場合があるため、そのような状況を踏まえての活動を実施予定である。

【委員】昨年の協議会の時に、福知山市内における子どもの大麻記事について、広がり懸念はないのかと質問したところ、その時は、煙草を吸う感覚で低年齢化してきているが、深刻な状態ではないという話だった。入手ルートを掴んで先手先手で対策を取っていく必要があるのではないか。

社会全体が薬物に深い関心を持たないといけない。

大元の追及と起きたことに対するフォローが必要である。

【委員】私の職場の傾向だが、若い職員が新卒で入り、北部に赴任してくるケースが多くなっている。運転経験が浅い職員が多いため、先輩職員を同乗させるなどの対策を取っているが、先ほどの話のように、駐車場内での軽微な事故が多い。助手席の者がバック誘導をするようにと

会 議
内 容

指導しているが、出来ていない。

昨年、一昨年とコロナ禍のため、職場における交通安全講習等の機会がなかった。

コロナが収束し、職場に来ていただく機会があれば、若い職員に対して交通安全の大切さについての講習をしてもらいたい。

【警察】 昨年から対策を取りながら実施しており、コロナ対策を行いながら交通安全教育等をしていきたいと考えている。要望等があれば、依頼をしていただきたい。

【委員】 1点目ですが、大麻について関心がある。低年齢化し、人との関係が希薄になっている今、幼いときからの啓発活動をお願いしたい。

被疑者の立ち直り支援について、どのようなところまでしてもらえるのか、どのような関係機関と連携して支援をしているのか。

立ち直り支援について、関係機関と連携を取って働き掛けをしてもらいたい。

2点目は、高齢者に対する特殊詐欺である。しっかりしているつもりでも、慌てさせられると騙されるのが、特殊詐欺の1つの性質かと思う。未然に防ぐ、市民が気を付けるというところで、教育的な関わりをしてもらいたい。

【委員】 先ほどの話にもあった防犯機能付き電話は大変良い。まだまだ知られていないと思うので、是非このような情報を発信してもらいたい。

ただ、子機が使用できなくなるという問題点があるため、その点を何とか改善をしてもらいたいと考えている。

【委員】 高齢化が進んでいる地域では集会等の機会が減っており、情報伝達が難しい。

情報伝達の必要性を感じ、駐在所が作成した広報紙を配布する等しているが、今後も積極的な取組をお願いしたい。

【委員】 府道談夜久野線が暴走道路になっており、センターラインを越えて走る車がいる。

商業車も猛スピードで走り、積載量を超えているのではないかと思われる車両、スマートフォンを操作しながら運転しているの見掛けるため、実態を見て判断をし、取締りをしてもらいたい。

【警察】 一番の気掛かりなのは、大麻の蔓延と特殊詐欺と感じている。特に大麻が少年に蔓延しつつあると考えている。

特殊詐欺についても、被害の発生はないが、予兆電話が連続して起こっており、隣接の警察署ではキャッシュカードのすり替えを行った犯人が電車を利用しているという情勢がある。

犯罪情勢は日々変化していることから、情勢を把握し、対応しなけ

会議 内容	<p>ればいけないと考えている。</p> <p>薬物乱用防止教室については、小学校、中学校、高校に対して、本部の関係部所と連携しながら子ども達へ大麻の危険性を伝えることが重要と考えている。</p> <p>立ち直り支援、再犯防止という意味では、当署で検挙した子どもに少年係や少年サポートセンターが継続的に関わり、保護者からお礼の手紙をいただくことがあった。引き続きの取組をしていく。</p> <p>特殊詐欺については、いたわりテレホン、福知山市役所の各支所等と協力して防災無線を使って情報発信を行っていく。</p> <p>情報発信については、出せる情報については、各種会合やメール等を使って積極的に情報発信してくので、皆さんが出来る防犯対策を取ってもらうことで、皆が犯罪に遭わず、安全安心な暮らしができるよう頑張っていきたいと考えている。</p> <p>7 事務連絡</p> <p>令和4年度第2回警察署協議会については、協議事項も含めて事務局と調整の上、決定する。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>
----------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

第1回京都府福知山警察署協議会の開催状況

